

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公表番号】特表 2020-536048 (P2020-536048A)

【公表日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2020-512367 (P2020-512367)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 17/14

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子伝達系阻害剤及び賦形剤を含む組成物であって、前記組成物が局所投与のために調製される、前記組成物。

【請求項 2】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体 I、II、III または IV の阻害剤である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジン A、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブラート、フェノフィブラート、マロン酸ナトリウム、テノイルトリフルオロアセトン、シクロホスファミド、ケトコナゾール、アンチマイシン A、アセトアミノフェン、イソフルラン、セボフルラン、セファロリジン、セファゾリンもしくはセファロチン、またはその薬学的に許容される塩である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体 I または III の阻害剤である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジン A、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブ

ラート、フェノフィブラート、アンチマイシン A、アセトアミノフェン、イソフルラン、またはセボフルランである、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記電子伝達系阻害剤が、ロテノン、フェンホルミンまたはアンチマイシン A である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

電子伝達系阻害剤を含む、発毛を促進するための医薬組成物。

【請求項 8】

電子伝達系阻害剤を含む、発毛に影響する状態または障害を治療するための医薬組成物。

【請求項 9】

前記状態または障害が禿頭症または脱毛症である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体 I、II、III または IV の阻害剤である、請求項 7～9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジン A、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブラート、フェノフィブラート、マロン酸ナトリウム、テノイルトリフルオロアセトン、シクロホスファミド、ケトコナゾール、アンチマイシン A、アセトアミノフェン、イソフルラン、セボフルラン、セファロリジン、セファゾリンもしくはセファロチン、またはその薬学的に許容される塩である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体 I または III の阻害剤である、請求項 7～9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジン A、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブラート、フェノフィブラート、アンチマイシン A、アセトアミノフェン、イソフルランもしくはセボフルラン、またはその薬学的に許容される塩である、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記電子伝達系阻害剤が、ロテノン、フェンホルミンもしくはアンチマイシン A、またはその薬学的に許容される塩である、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

発毛を促進するための医薬品の製造における電子伝達系阻害剤の使用。

【請求項 16】

発毛に影響する状態または障害を治療するための医薬品の製造における電子伝達系阻害剤の使用。

【請求項 17】

前記状態または障害が禿頭症または脱毛症である、請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体 I、II、III または IV の阻害剤である、請求項 15～17 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 19】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジン A、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブ

ラート、フェノフィブラート、マロン酸ナトリウム、テノイルトリフルオロアセトン、シクロホスファミド、ケトコナゾール、アンチマイシンA、アセトアミノフェン、イソフルラン、セボフルラン、セファロリジン、セファゾリンもしくはセファロチン、またはその薬学的に許容される塩である、請求項18に記載の使用。

【請求項20】

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体IまたはIIIの阻害剤である、請求項15～17のいずれか1項に記載の使用。

【請求項21】

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジンA、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブラート、フェノフィブラート、アンチマイシンA、アセトアミノフェン、イソフルランもしくはセボフルラン、またはその薬学的に許容される塩である、請求項20に記載の使用

。

【請求項22】

前記電子伝達系阻害剤が、ロテノン、フェンホルミンもしくはアンチマイシンA、またはその薬学的に許容される塩である、請求項20に記載の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

等価物

対象発明の特定の実施形態が論じられたが、上記明細書は例証的であって制限的ではない。本発明の多くの変型は、本明細書及び下記特許請求の範囲を考慮すれば当業者に明らかとなるであろう。本発明の全範囲は、特許請求の範囲を、それらの同等物の全範囲と共に、及び明細書をそのような変型と共に参照することによって決定されるべきである。

(付記)

(付記1)

電子伝達系阻害剤及び薬学的に許容される賦形剤を含む医薬組成物であって、前記医薬組成物が局所投与のために調製される、前記医薬組成物。

(付記2)

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体I、II、IIIまたはIVの阻害剤である、付記1に記載の医薬組成物。

(付記3)

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジンA、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブラート、フェノフィブラート、マロン酸ナトリウム、テノイルトリフルオロアセトン、シクロホスファミド、ケトコナゾール、アンチマイシンA、アセトアミノフェン、イソフルラン、セボフルラン、セファロリジン、セファゾリンもしくはセファロチン、またはその薬学的に許容される塩である、付記1に記載の医薬組成物。

(付記4)

前記電子伝達系阻害剤が、電子伝達系複合体IまたはIIIの阻害剤である、付記2に記載の医薬組成物。

(付記5)

前記電子伝達系阻害剤が、メトホルミン、フェンホルミン、ブホルミン、ロテノン、エピベルベリン、ピエリシジンA、アミタール、カブサイシン、ハロペリドール、リスペリドン、ブピバカイン、リドカイン、ハロタン、ダントロレン、フェニロイン、クロフィブ

ラート、フェノフィブラート、アンチマイシン A、アセトアミノフェン、イソフルラン、またはセボフルランである、付記 4 に記載の医薬組成物。

(付記 6)

前記電子伝達系阻害剤が、ロテノン、フェンホルミンまたはアンチマイシン A である、付記 5 に記載の医薬組成物。

(付記 7)

付記 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の組成物の治療上有効な量を、患者に投与することを
含む、発毛を促進する方法。

(付記 8)

付記 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の組成物の治療上有効な量を、患者に投与すること
を含む、発毛に影響する状態または障害を治療する方法。

(付記 9)

前記状態または障害が禿頭症または脱毛症である、付記 8 に記載の方法。